



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6615 URL https://www.umc.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大年 浩太
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経理部 部長 (氏名) 千葉 成晃 (TEL) 048-724-0001

配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	33,041	0.8	455	139.8	726	—	587	—
2024年3月期第1四半期	32,781	△13.4	189	△27.2	△156	—	△266	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,078百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 25百万円(△96.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	20.79	—
2024年3月期第1四半期	△9.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	83,571	20,461	24.4
2024年3月期	79,015	19,717	24.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 20,413百万円 2024年3月期 19,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	△4.8	2,100	2.8	1,300	5.4	1,050	2.8	37.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期1Q	28,277,620株	2024年3月期	28,277,620株
2025年3月期1Q	86株	2024年3月期	86株
2025年3月期1Q	28,277,534株	2024年3月期1Q	28,277,534株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金					年間配当金 総額(合計)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 7,400.00	円 銭 7,400.00	百万円 51
2025年3月期 (予想)	—	3,710.00	—	3,690.00	7,400.00	44

(注) 1. 当社は、2021年3月30日に第三者割当によるA種優先株式を発行いたしました。

2. 当社は、2024年7月11日に株式会社みずほ銀行より当社発行のA種優先株式一部(1,000株)を取得して、同日付で消却を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループをとり巻く環境は、自動車関連や半導体関連の設備投資に緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら、世界的な金融引締め継続、海外景気の下振れ懸念、円安に伴う物価上昇やエネルギー価格及び資源価格の高止まり、地政学的リスクや金融資本市場の変動の影響等から依然として先行きは不透明な状況が続いております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は330億41百万円(前年同期比0.8%増)となりました。損益面においては、営業利益は4億55百万円(前年同期比139.8%増)となりました。経常損益は7億26百万円の利益(前年同期は1億56百万円の経常損失)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は5億87百万円の利益(前年同期は2億66百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

当社グループは、EMS事業とその他の事業を営んでおりますが、ほとんどがEMS事業のため、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、EMS事業の製品分野別の売上高とその他の事業の売上高は以下のとおりであります。売上高の金額については、連結相殺消去後の数値を記載しております。

① EMS事業

当社グループの主たる事業であるEMS事業の売上高は328億45百万円(前年同期比0.8%増)となりました。製品分野別の業績の概況は次のとおりであります。

(車載機器)

中国市場における需要低迷の影響は継続しているものの、電動コンプレッサ向け部品やハイブリッド車向け部品が好調に推移し、売上高は183億88百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

(産業機器)

半導体設備投資需要の復調による売上増加はあるものの、制御機器製品の中国市場における低迷による取扱高の減少により、売上高は50億6百万円(前年同期比27.9%減)となりました。

(OA機器)

在宅需要の増大に起因する在庫調整の解消により複合機やレーザープリンタ向け製品の受注が回復し、売上高は93億8百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

(その他)

コンシューマー製品とアミューズメント向け開発が主な事業内容になり、売上高は1億42百万円(前年同期比30.8%減)となりました。

② その他の事業

人材派遣業の売上高は1億95百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は835億71百万円(前連結会計年度末比45億56百万円増加)となりました。これは主に、売上債権が減少した一方で、現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債につきましては、631億10百万円(前連結会計年度末比38億12百万円増加)となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金が減少した一方で、買入債務が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、204億61百万円(前連結会計年度末比7億44百万円増加)となりました。これは主に、利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月15日に公表いたしました数値から変更はありません。業績の見通しの前提となる為替レートは、1 USD=145円を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,266	14,958
受取手形、売掛金及び契約資産	13,649	12,801
製品	2,570	2,711
仕掛品	442	644
原材料及び貯蔵品	19,677	19,772
未収入金	727	709
未収消費税等	793	437
その他	2,738	3,083
流動資産合計	50,867	55,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,017	7,127
機械装置及び運搬具（純額）	8,130	9,044
その他（純額）	4,602	3,922
有形固定資産合計	19,750	20,094
無形固定資産	351	362
投資その他の資産	8,046	7,994
固定資産合計	28,147	28,451
資産合計	79,015	83,571
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,658	20,917
短期借入金	21,415	20,975
1年内返済予定の長期借入金	1,863	1,863
未払法人税等	297	130
賞与引当金	665	494
その他	4,863	5,668
流動負債合計	45,764	50,049
固定負債		
長期借入金	11,813	11,353
退職給付に係る負債	822	805
繰延税金負債	44	50
その他	854	851
固定負債合計	13,533	13,061
負債合計	59,297	63,110

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,729	4,729
資本剰余金	5,784	5,784
利益剰余金	7,846	8,099
自己株式	△0	△0
株主資本合計	18,359	18,613
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,304	1,799
退職給付に係る調整累計額	5	1
その他の包括利益累計額合計	1,310	1,800
新株予約権	29	29
非支配株主持分	17	17
純資産合計	19,717	20,461
負債純資産合計	79,015	83,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	32,781	33,041
売上原価	31,207	31,239
売上総利益	1,573	1,801
販売費及び一般管理費	1,383	1,346
営業利益	189	455
営業外収益		
受取利息	16	26
受取配当金	1	0
受取地代家賃	307	293
為替差益	—	408
その他	40	11
営業外収益合計	364	740
営業外費用		
支払利息	286	180
賃貸費用	238	248
為替差損	142	—
その他	43	39
営業外費用合計	711	469
経常利益又は経常損失(△)	△156	726
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	0	3
固定資産売却損	6	—
特別退職金	—	15
特別損失合計	7	18
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△163	710
法人税等	104	122
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△267	588
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△266	587

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△267	588
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	290	494
退職給付に係る調整額	2	△3
その他の包括利益合計	293	490
四半期包括利益	25	1,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26	1,078
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、EMS事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載は省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	670百万円	844百万円
のれんの償却額	8	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。